

弘前市文化財マップ

私たち西小学校の6年生は、弘前市の重要文化財を見学し、勉強してきました。弘前のすばらしさが改めてわかった。この学習をまとめました。



長勝寺は、三門という大きな門と、本堂、庫裏の3つがすべて重要文化財に指定されています。三門は、高さ16.2mで円柱を一層から二層までの通し柱としています。仁王像が左右に置かれています。本堂は、1528年に南部光信のお寺として建立されました。中の津軽信枚の像には赤や緑また、金などの色が残っています。1805年に南から東にむきを変えました。

五重塔の高さは、31.2mで、1667年～1668年に建てられました。1階の丸柱の間に、というふうの中には十二支が書かれていて、昔の人はここにくると方位がわかる。たそである。1階のははが、1階のははの半分ほどです。1998年に重要文化財に指定されました。この五重塔は、指定されているものとしては最北。

弘前城

青森銀行記念館

弘前城は、津軽信枚により建てられた城です。今は、石垣修理が行われています。約2200個の石が解体されました。およそ100年ぶりの歴史的な工事となります。この工事により、江戸時代に作られた埋没石垣、内濠石垣、井戸跡や、大正に設置された、帯コンクリートなどが新たに発見されたのです。

これは明治37年に完成した、第五十九銀行本店の建物です。石ではなく木で作られています。中央の人口の正面屋根に突き出した部分などに、アーチ状のデザインを用いています。かべの中にかわらを入れてぬりこめたり、土戸を使用する防火構造です。天上の金唐革紙や、けやきのカウンターなど、いまでは手に入らない高価な材料をたくさん使っています。堀江佐吉の最高傑作です。

木村産業研究所

豆

昭和7年に前川國男がはじめて設計して建てた建物。この木村産業研究所です。日本でも、とても早い時期のモダニズム建築です。今年の8月2日にはじめて重要文化財に指定されました。また、調子たこのモダニズム建築は、機能的合理的な造形理念に基づいて建てられています。工業製品を使っています。

弘前公園の二の丸南門は、ある工夫がしてあります。それは、てまかせめてきたとき、正面からではなく、左側から入らなければならぬ。少し時間をかせけることです。また、門の上から入ることも、てまかせのことか、できるのです。とまどっている所で相手にやられたら、大変ですね。

A長勝寺 B五重塔 C弘前城 D青森銀行本店 E木村産業研究所



三門



天守



天守



モダニズム



ふり返り 弘前の文化財について勉強でき、とてもよかったです。とても良い体験ができました。